

千種区役所等複合庁舎 コンセプト

1. 暮らしに寄り添う施設

1) 利便性の高い行政サービス

- 区民が利用しやすいように、現在と同じ場所で建替えます。
- 地下鉄池下駅からアクセスしやすいように、3階フロアと既存の歩行者デッキとを接続します。

2) 人にやさしい庁舎

- 明快な動線計画など、来庁者にわかりやすいフロア構成とします。
- 案内表示の適切な配置など、わかりやすいサイン計画とします。

2. 親しみやすい施設

1) 区民の交流の場

- 1階に区民に開かれたアトリウム（内部公開空地）を整備します。
- 4階に区民も利用できる講堂や多目的室を整備します。

2) 地域性が感じられるデザイン

- 千種区がかつて陶業により都市化が進んだ歴史を踏まえ、特徴的なタイルを効果的に使用します。

3. 安心・安全な施設

1) 耐震性の確保

- 基礎免震構造を採用し、建物全体を揺れから守り、大地震時の被害を最小限に抑えます。
- 大地震時のガラスの破損等、万一の落下物の危険にも配慮した計画とします。

2) 災害時の迅速な支援・復旧活動の拠点

- 災害時には支援・復旧活動維持のため、停電時でも72時間庁舎機能が維持できる計画とします。
- 施設の機能維持に必要な電気・給水関連の設備を上階に設置し、想定外の集中豪雨による浸水被害を最小限に抑えます。

4. まちづくりに寄与する施設

1) 快適な共用空間

- ・建物の周囲に緑豊かなゆとりある屋外歩行空間を整備します。
- ・1階のアトリウム（内部公開空地）は3層吹抜けとし、居住域を適切に空調することで、市民が気軽に立ち寄れる場所とします。

2) 良質な住宅ストック

- ・区役所上部には良質なUR賃貸住宅を配置し、都市の居住機能充実に貢献します。

5. 持続可能性の高い施設

1) ライフサイクルコストの低減

- ・建物外周にバルコニーを設け、外壁の目視点検やメンテナンスが容易にできる計画とします。
- ・引違い窓等の開閉可能な窓を基本とし、中間期や災害時の非空調時にも換気・通風により執務環境の維持を図れる計画とします。

2) 可変性の高い執務空間

- ・執務エリアと共用エリアを明確に分け、執務エリアは将来的な部署再編時のレイアウト変更に対応できる計画とします。

6. 環境に優しい施設

1) 環境負荷の低減

- ・雨水利用など自然エネルギーを積極的に活用するとともに、設備システムの効率化により環境負荷の低減を図ります。

2) 地域レベルでの環境配慮

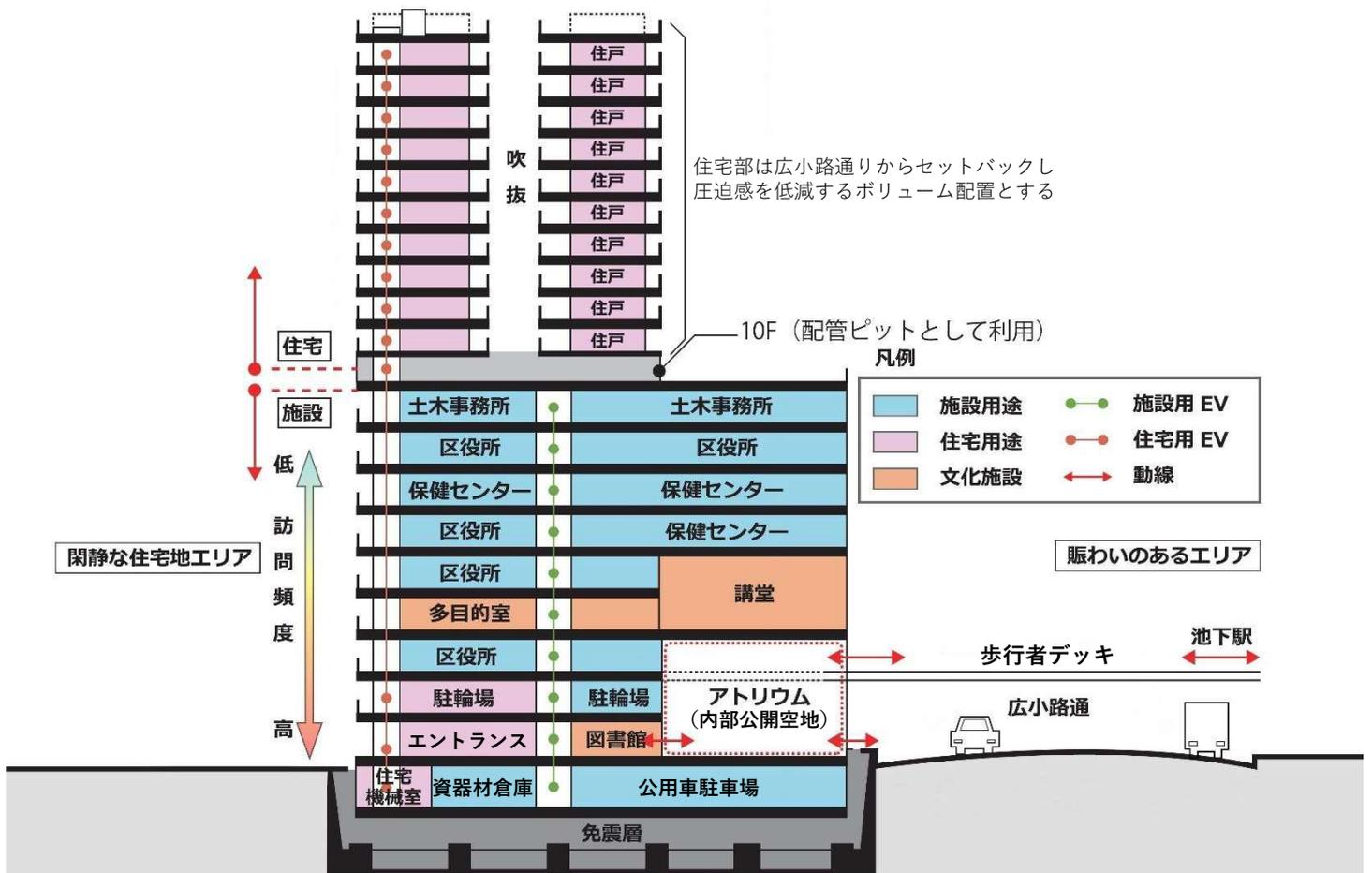
- ・地域冷暖房の導入により、地域レベルでの省エネルギー化に寄与する計画とします。
- ・地下に雨水貯留槽を設け、周辺の治水環境に配慮します。

3) 周辺環境との調和

- ・高層の住宅部を南側へセットバックし、人通りの多い広小路通り側への圧迫感を低減するボリューム配置とします。
- ・色彩計画など既存の都市景観との調和を図ります。



北西側イメージパース



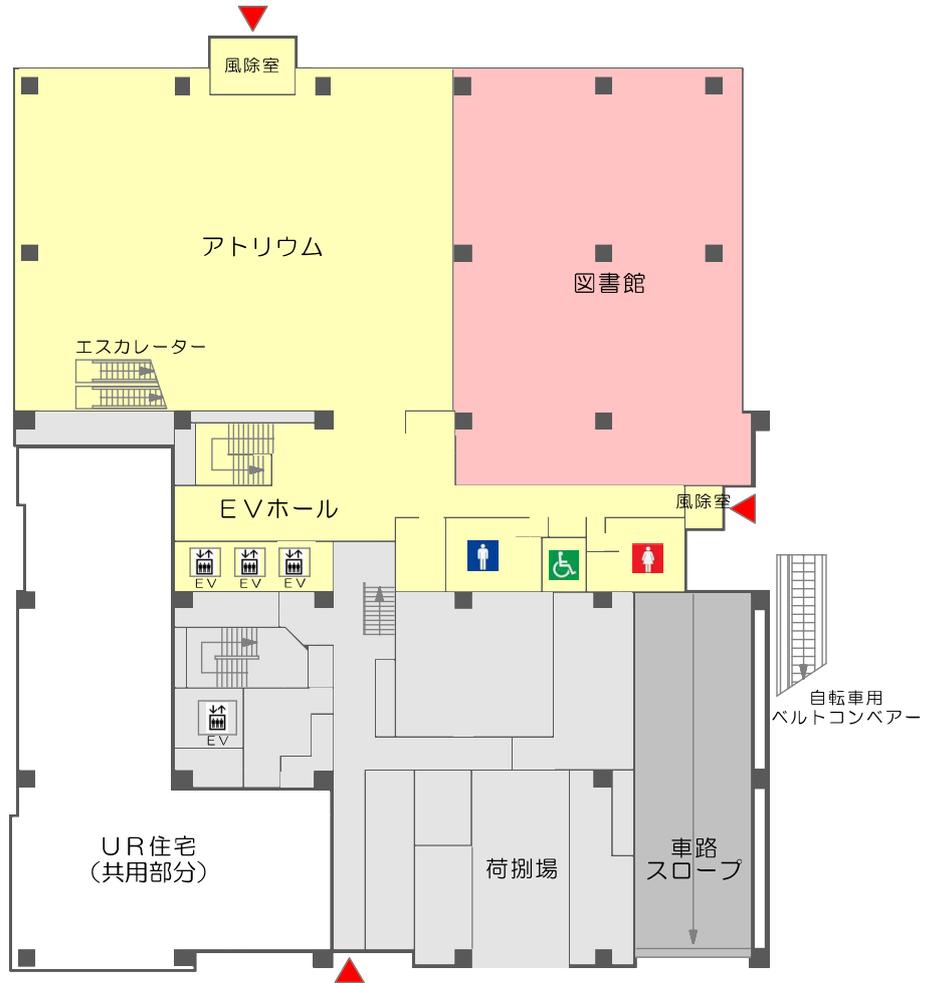
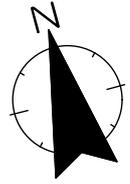
断面構成イメージ図



地下1階 公用車駐車場・内部管理フロア



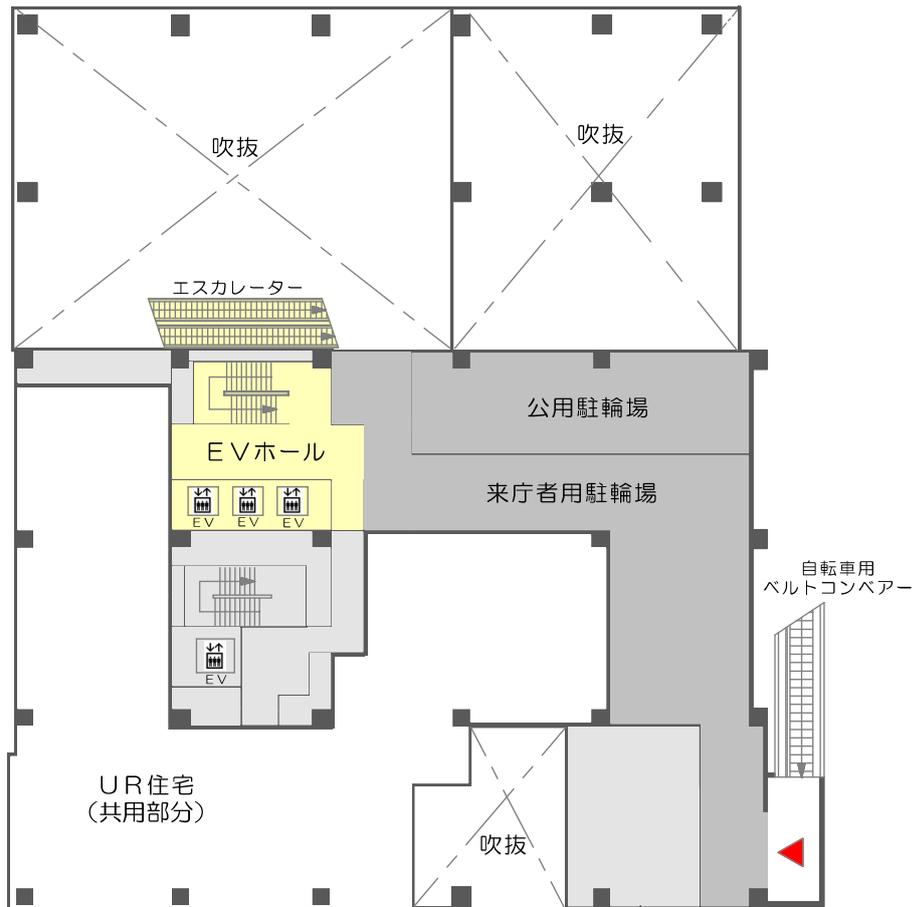
広小路通り



1階 区民交流フロア

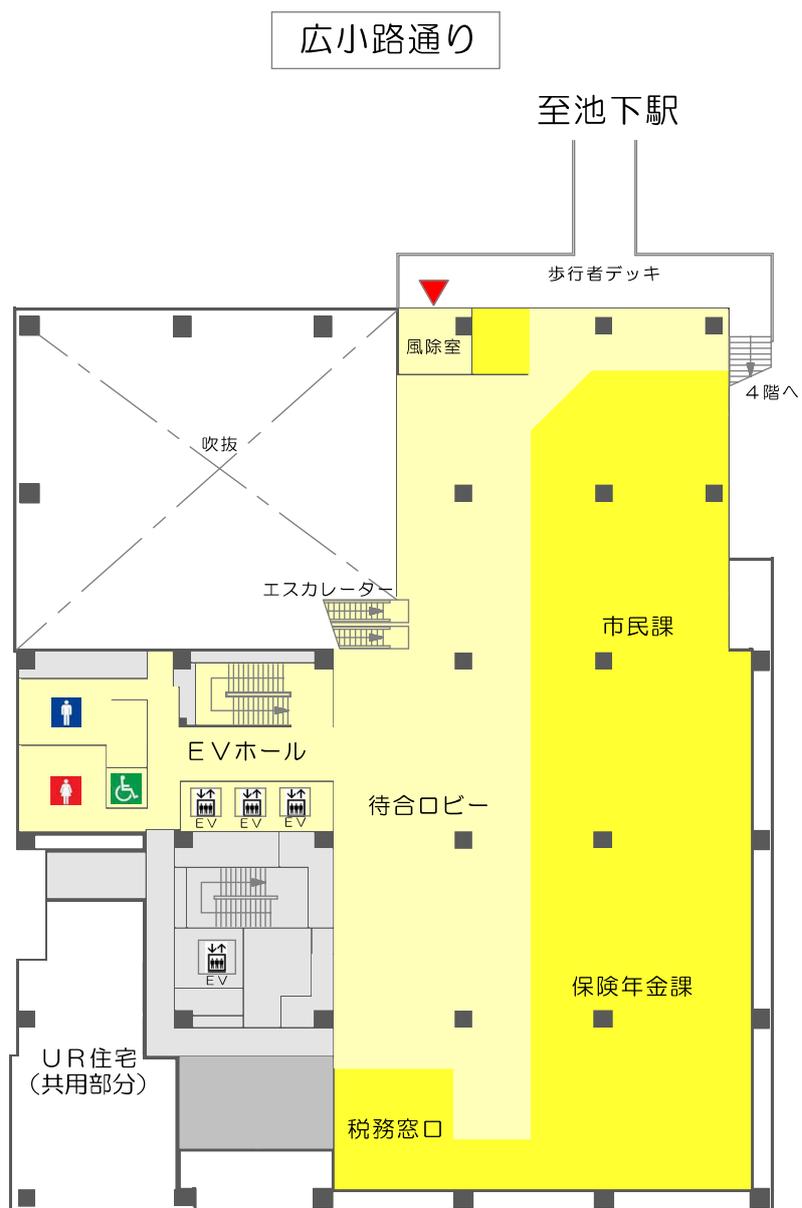
0 5m 10m





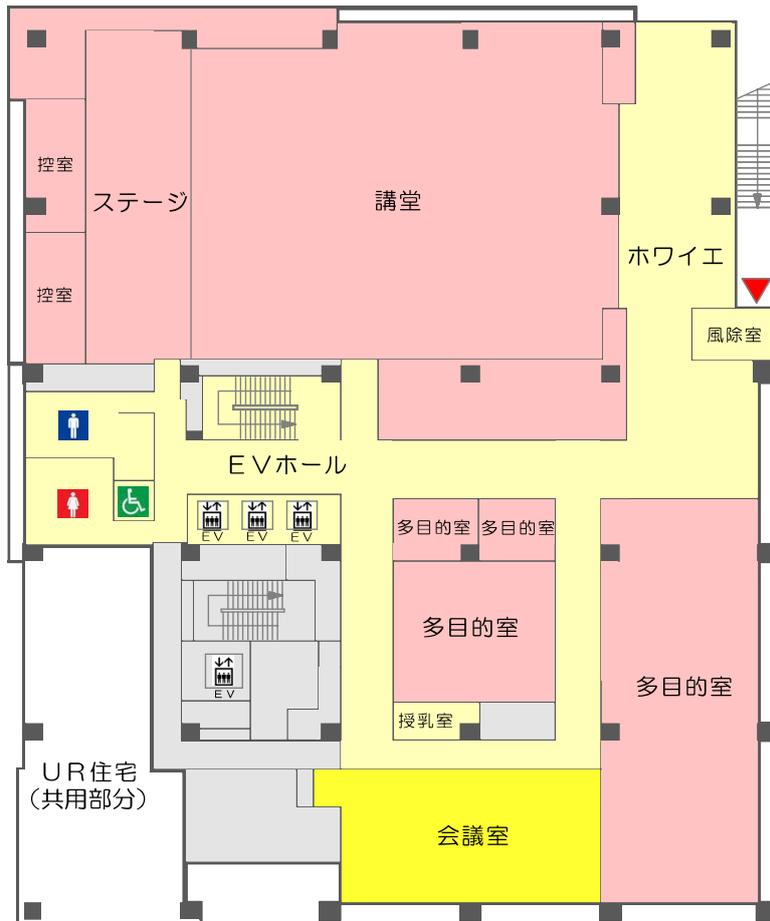
2階 駐輪場フロア





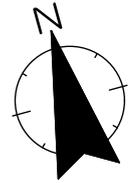
3階 市民課、保険年金課、税務窓口フロア

0 5m 10m



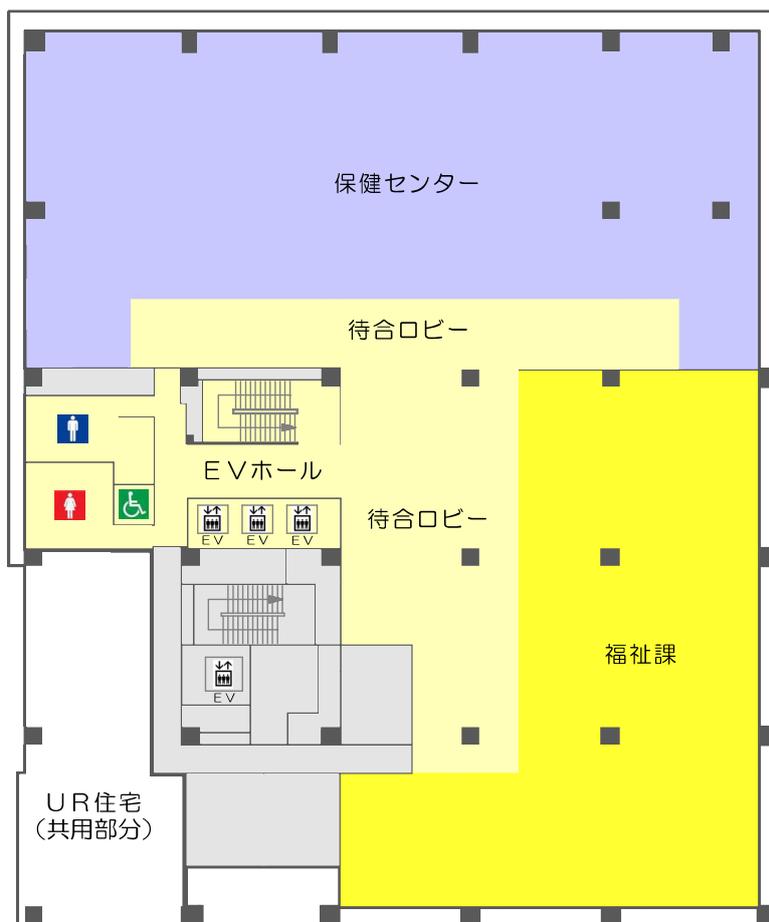
4階 区民交流フロア





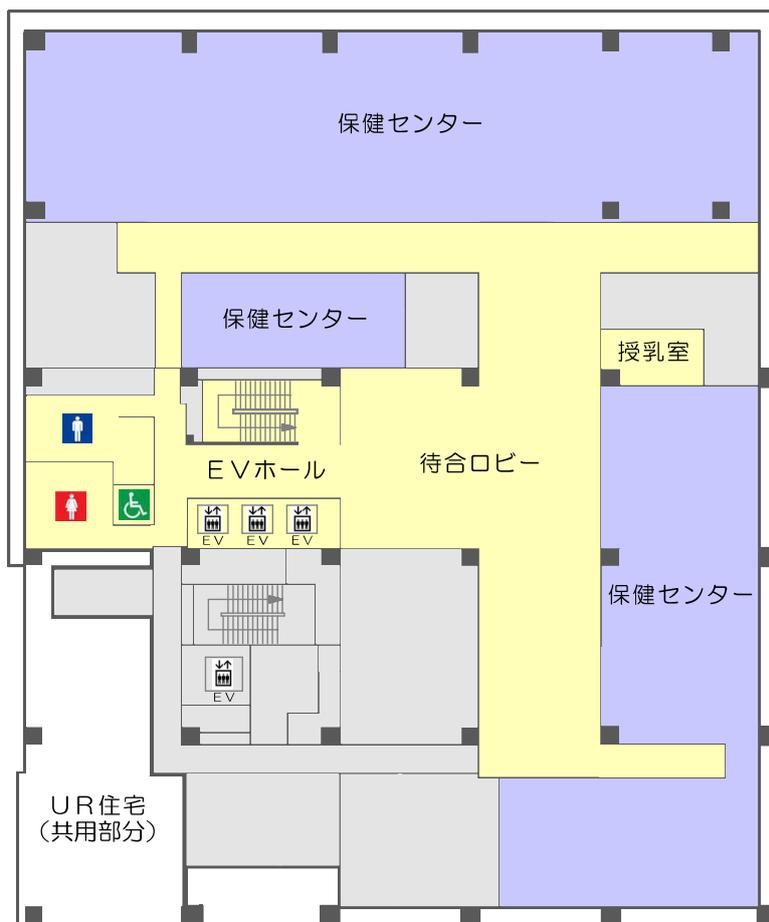
5階 民生子ども課フロア





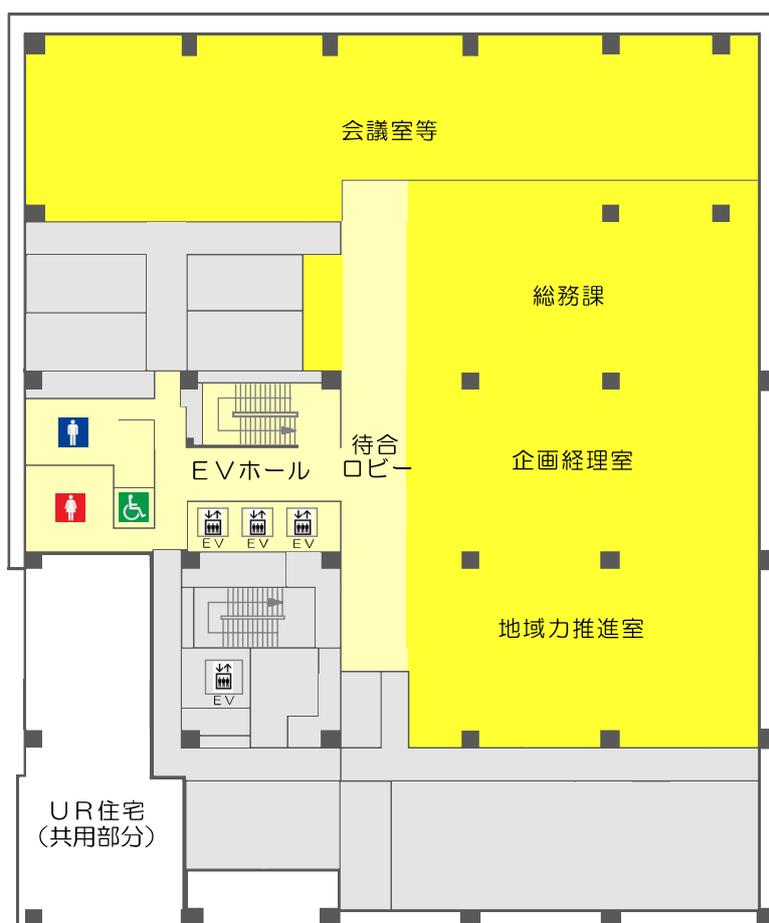
福祉課・保健センター
6階 (保健管理課、環境薬務室、保健予防課) フロア





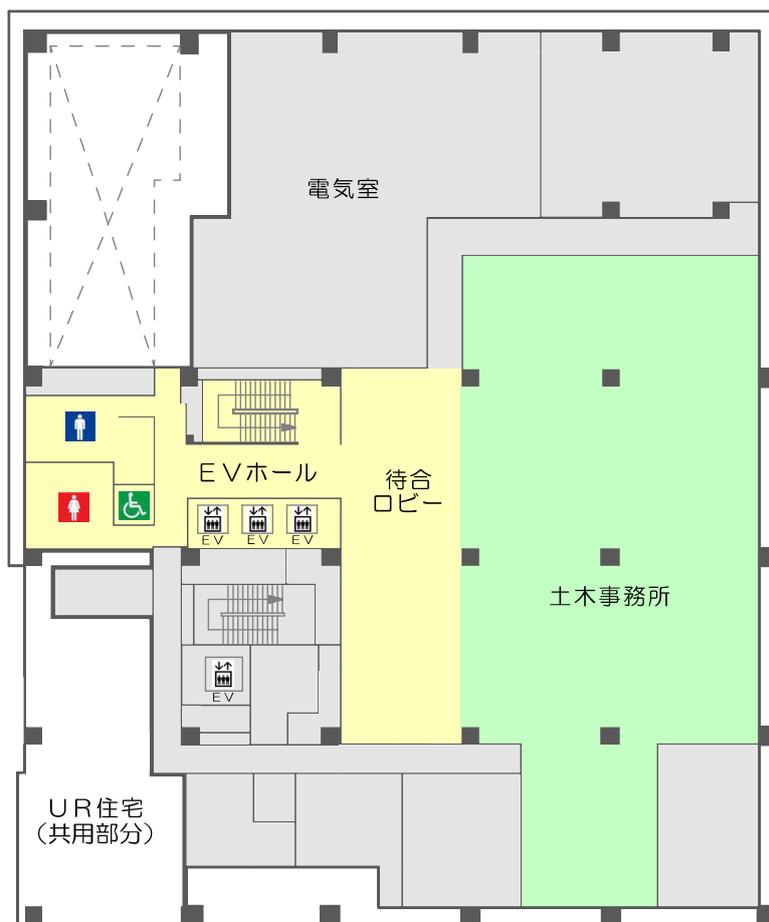
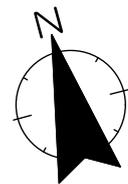
7階 保健センター健診フロア

0 5m 10m



8階 総務課、企画経理室、地域力推進室フロア





9階 土木事務所フロア

